

## 社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の分野	地域住宅支援
	計画の名称	射水市における住宅やセーフティネットの構築と住環境の向上(射水市地域住宅計画)
	交付対象	射水市
	計画期間	平成31～35年度(5年間)
	計画の目標	人口・世帯構成及び家族構成の変化(高齢化社会・少子化の進展・単身世帯の増加等)に対応した住宅供給を図るとともに長寿命化対策を推進する。次世代に継承できる安全で良質な住宅ストックを形成する。
	定量的指標 (目標値)	市営住宅長寿命化計画に基づく個別改善計画の策定割合 0%(H31) 100%(H35) 市営住宅のストック改善化の達成率 0%(H31) 20%(H35)
	対象事業	射水市住生活基本計画策定事業(提案事業) 公営住宅等ストック総合改善事業
全体事業費	54百万円	

項 目	評 価 細 目	評 価	説 明 欄
目 標 の 妥 当 性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	第二次射水市総合計画との整合が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	少子高齢社会の進展に伴う住宅セーフティネットとしての公営住宅の改善等の課題に対応している。
計 画 の 効 果 ・ 効 率 性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標に即した具体的な定量的指標をしている。
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	客観的に求められる数値指標としている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標に対して直接的な効果が期待できる事業内容となっている。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	数値の指標を設定しており、その達成状況に応じて事業の進捗を検証することが可能である。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	数値の状況、課題に即した計画であり具体的で実現可能な事業を想定しており、十分な事業効果が見込める。
計 画 の 実 現 可 能 性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	市営住宅入居者及び市民からの要望に即した事業であり、推進にあたっての環境が整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	市営住宅入居者及び市民の理解が得られている。
評 価 結 果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">評価 事業を実施</div> 評価 計画の見直し	【評価基準】 「評価 ○」は、全項目に ○が付いているもの 「評価 △」は、1項目でも△が付いているもの	